

全学共通科目 総合系科目 [秋学期他科目]



2024年度 国連ユースボランティア 募集要項

★対象者

- ・学部学生 2~4 年次
- ・2024 年 9 月 1 日時点で満 20 歳以上 26 歳未満

★国連ユースボランティア募集サイト

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/ghrd/unyv/SitePages/index.aspx> (随時更新)

【プログラム概要】

●概要

国連ユースボランティアは、世界の平和と開発を支援するためにボランティアリズムを推進する国連機関である国連ボランティア計画 (UN Volunteers) が大学と連携して、学生を開発途上国へボランティアとして派遣するプログラムです。日本では 2024 年度現在 4 大学 (立教大学、関西学院大学、明治大学、明治学院大学) がコンソーシアムを組みこのプログラムに参加しています。

約5か月間、開発途上国の国連事務所等に派遣され、業務指示書に基づき各機関のスタッフや現地の方々とともに活動に従事します。教育、環境、人権擁護、保健衛生などの分野で、プロジェクト運営の支援、広報活動、各種調査などの活動に携わります。

●プログラムの特長／期待される学び・効果

- ・大学生が国連機関の活動に従事できる希少な機会
- ・開発途上国での貴重なボランティア活動、異なる環境で育った人々と共に協働し、生活する
- ・国際協力分野における現地の活動を知る
- ・異文化適応力、コミュニケーション能力、外国語運用能力、主体性・積極性、責任感、柔軟性、発信力、忍耐力等の国際的に活躍できるグローバル人材として必要なスキルを身に付ける
- ・国際協力分野等グローバルな問題の本質に迫る知識と視野を身に付ける

●派遣地／派遣機関

- ・原則、開発途上国の国連諸機関の事務所へ派遣。その他現地政府機関など、国連ボランティア計画事務局にボランティア派遣要請をしている機関となる可能性もあり。
- ・毎年度変更あり。

●派遣国

アジア、アフリカ、中南米、大洋州などの開発途上国より決定

〈2019 年度本学募集実績国〉

バルバドス、カザフスタン、アルバニア、マラウイ、ジンバブエ、アゼルバイジャン

〈2020 年度本学募集実績国〉

スリランカ、ウズベキスタン

〈2021 年度本学募集実績国〉

ヨルダン、ラオス、カザフスタン、タイ

〈2022 年度本学募集実績国〉

東ティモール

〈2023 年度連携校募集実績国〉

ガーナ、ヨルダン、ネパール、タイ、サモア、ナミビア

◆本学学生派遣実績

- 2013年度：3名 派遣国：ベトナム(UNV)、東ティモール(UN Women)、カンボジア(UNV)
- 2014年度：1名 派遣国：フィリピン(UNV)
- 2015年度：1名 派遣国：フィジー(UNV)
- 2016年度：3名 派遣国：タンザニア(UNV)、モザンビーク(UNV)、東ティモール(UNDP)
- 2017年度：1名 派遣国：フィリピン(FAO)
- 2018年度：2名 派遣国：インドネシア(IOM)、モザンビーク(UN Women)
- 2019年度：1名 派遣国：カザフスタン(UNRCO)
- 2020年度：派遣中止(COVID-19の影響によるプログラム中止)
- 2021年度：3名 派遣国：ヨルダン(UNICEF)、ラオス(UNV)、タイ(UNRCO)
- 2022年度：1名 派遣国：東ティモール(UN Women)
- 2023年度：1名 派遣国：ガーナ(UNHCR)

※募集国は毎年変更・調整がある。

※募集があった国に関して、選考中もしくは合格確定後、派遣後であっても、国際情勢や現地事情、本学の安全管理基準により、本学の派遣を中止する場合がある。

●渡航準備

・国連ユースボランティアプログラムの派遣においては UNV と参加学生との直接契約の下に派遣が行われる。渡航準備は、本学や本プログラムの規則に従い、UNV の指示の下派遣者自身が責任を持って行う。

【2024 年度募集要領】

●派遣国／派遣機関／業務内容

4 月初旬発表予定

- ・「業務指示書(Description of Assignment)」にて、派遣地／派遣先機関／業務内容等が指定される
- ・決定次第、選考対象者に通知する

●派遣[活動]期間

2024 年 9 月中下旬～2025 年 2 月下旬のうち約 5 か月間

※8 月に、計約 10 日間の事前研修、2025 年 3 月に帰国報告会あり

●派遣枠・派遣人数

立教生用 派遣枠・派遣人数：1 枠(1 名)

※学内選考、国連による選考を経て最終的に 1 名の合格者が決定される

●応募資格・要件

- ① 学部学生 2～4 年次生であること
- ② 2024 年 9 月 1 日時点で満 20 歳以上 26 歳未満かつ心身ともに健康であること
- ③ 2024 年度春学期・秋学期ともに在学する者(休学していないこと)
- ④ 以下のいずれか一つの英語能力を満たすこと
【TOEFL ITP500 点、TOEFL iBT61 点、TOEIC 590 点、IELTS 5.0 点】
ただし、上記点数を満たすだけでなく、業務遂行に必要な高い英語力を有することが求められる。
- ⑤ 開発途上国へ 2 週間以上の渡航経験を持つことが望ましい(必須ではない)
- ⑥ ボランティア経験があることが望ましい(必須ではない)
- ⑦ 円滑に共同作業ができること
- ⑧ 基本的な ICT スキル(Word/Excel/PowerPoint)を有すること
- ⑨ 全学共通(カリキュラム)科目言語必修科目に未修得の単位がある場合、申請を認めない

※国籍不問。ただし、適切な安全管理を行うため、コンソーシアム共通で実施する事前研修等日本語で行われる講義および日本語の資料を理解し、円滑な意思疎通ができる日本語力を有することを求める

●実施形態

現地赴任による活動を行うことを前提とする。

ただし、情勢や衛生面等、様々な事由から渡航のための条件が整わないと判断される場合や、査証の取得ができない場合には渡航中止や渡航期間変更となる可能性がある。

〈現地赴任のための海外渡航基準〉

- ・日本国外務省発表の「危険情報」がレベルⅠ以下であること。
- ・日本国外務省発表の「感染症危険情報」がレベルⅠ以下であること。
- ・国連ボランティア計画（本部および現地事務所）および立教大学が現地渡航可と判断すること。

●単位数・単位算入先

科目名：「国連ユースボランティア」

単位数：12 単位（秋学期科目）

履修区分：全学共通科目 総合系科目 多彩な学び

※各自の単位算入先は所属学科（専修）やこれまでの単位修得状況による。各自履修要項を確認のこと。

●履修登録に関する注意事項・派遣中の学籍

- ・2024 年度春学期・秋学期に在学している（休学していない）学生のみ参加可。
- ・活動期間が秋学期の授業期間と重なるため、この科目以外の当該年度秋学期科目（オンデマンド科目やオンライン科目含む全ての科目）の履修登録は不可。
- ・本科目を履修した場合、特例として当該秋学期の総合系科目履修登録上限は 12 単位（当該科目分）となる。
- ・通年科目を履修している場合、通年科目は「履修中止」扱いになり単位は修得できない。
- ・その他履修に関して特別な手続きが発生するか、所属するキャンパスの教務事務センター窓口にて確認すること。

●科目の構成

- ・事前準備：事前研修（①立教内、②コンソーシアム合同[約 10 日間。於：東京および関西（予定）]）、派遣のための各種準備（各自）、目標設定
- ・実習：派遣先機関の指示監督による実習（約 5 か月間）、週間レポート／月間レポート提出 等
- ・実習後：最終レポート／報告書等提出、帰国報告会 等

●成績評価

- ・「合格」または「不合格」による評価
- ・成績評価割合詳細は 2024 年度シラバスを参照

●費用

◇下記①～⑤は UNV を介して立教大学より支援する

- ① 往復渡航費
- ② 現地住居費
- ③ 現地生活費

現地の方と同等程度の生活を営むに足る金額が支給される。国ごとに定めた生活費が毎月現地銀行口座に入金される。渡航後、初回の費用振込までにはタイムラグがあるため、住居費と合わせて入国後初期にかかる費用の支払い額相当は参加者自身が準備しておく必要がある。

- ④ 保険料

業務に関する部分に適用される保険として国連指定の保険に加入。なお、別途、旅程全般をカバーするため自己負担にて大学指定の海外旅行保険に加入する必要がある（⑦参照）。

⑤ 支度金

その他渡航準備に必要な経費補助として、一部支度金の支給予定あり(金額未定)

◇ 下記⑥~⑧は参加者の自己負担(例年はおよそ計 20~30 万円)。

⑥ コンソーシアム合同事前研修等参加費用

- ・事前研修プログラム費 35,000 円(2023年度実績)
- ・事前研修や事後研修が東京以外で行われる場合、そのために必要な交通費および宿泊費実費

⑦ プログラム参加準備に必要な諸経費

- ・査証申請費用
- ・健康診断、診断書発行等(健康診断の診断書の提出が必要となる場合、約 2~3 万円)
- ・予防接種(1~10 万円程度。派遣国の衛生事情や派遣者の接種歴により異なる。)
- ・大学指定の海外旅行傷害保険(約 7 万円) 等

⑧ その他、国連ボランティア計画からの支給額を超えてもしくは支給対象外の支出をする場合の費用

※奨学金については後述参照

●申込手続

・申込締切: **2024 年 3 月 15 日(金) 17:00【時間厳守】**

パソコンの不具合等いかなる事由も遅延を認める理由とはならないので、時間に余裕を持って申し込むこと。

・応募手続を開始する前に、本募集要項の記載事項を必ず確認すること。

・申込方法:以下の応募フォームに必要事項を記入し提出すること。

<https://forms.gle/CX9KPXDxzU9PyAcIA> *募集サイトにもリンク掲載あり

※立教生用の派遣国／機関の決定は 4 月初旬の予定であり、応募者が派遣先機関を選択することはできない。特定の国／機関に関わらず“国連ユースボランティア”の活動を行う意志を持つ者のみ申込を行うこと。

・申込みの際、以下の書類を添付すること。 ※事前に準備すること

(1) 大学宛誓約書(募集サイトよりダウンロード)

※内容をすべて確認、了承の上署名すること

※本人および保証人両者の自署が必要。提出は PDF 形式(PDF 変換が難しい場合はスキャン画像や写真等のデータ形式可。)

(2) 成績参照画面の PDF データ

※2024/3/12 に発表される最新版の成績参照画面を PDF 形式で提出すること。

(成績参照画面の印刷用ページから全ページを PDF 化すること。スクリーンショット不可)

(3) 英語能力証明書の写し(本学のプレイスメントテスト等 IP テストも可)

(4) 英文履歴書[CV](指定フォームあり。募集サイトからダウンロードし記入すること)

・応募フォームには基本事項の入力に加え文章での回答が必要な以下の質問も含まれます。事前に考えをまとめてからフォームの入力に進んでください。

(A) 国際プログラム参加経験(プログラム名、研修地、年月、期間、プログラム内容、学んだこと)

※海外留学等海外で参加した修学プログラムの他、国内から参加したオンラインプログラムや国内における国際交流プログラム参加経験も含めてよい

(B) 上記以外の海外在住・滞在／活動／国際交流経験(国・地域名、年月、期間、経験内容／滞在理由、学んだこと)。オンライン経験含む

(C) ボランティア経験(企業／団体名、年月、期間、場所、活動内容、学んだこと) ※海外／国内問わず

(D) インターンシップ経験(企業／団体名、年月、期間、場所、活動内容)、学んだこと

(E) 主なアルバイト経験(企業／団体名、業務内容、年月、期間、場所)、学んだこと・習得したスキル

(F) ICT スキル

(G) 本プログラム応募にあたってアピールしたい特技・スキル・特性

(H) 国連ユースボランティアプログラムへの志望理由(英語で回答。250~350words)

- (J) 国連ユースボランティアにおいて自身が貢献できると考えること(具体的に。英語で回答。250~350words)
- (K) 下記の指示による **Short Essay** を別紙にて作成の上アップロードしてください。

※Word で作成、フォーム自由。冒頭に学生番号・氏名を記載、最後に Essay の単語数を括弧書きで記載すること。

Short Essay (750-1250 words including references in English)

Please submit your essay as a separate document.

Q. In 2015, leaders from 193 countries of the world created a plan called the Sustainable Development Goals (SDGs) to address global issues that we are facing. What is a global issue you are most concerned about or interested in? Please include the following information in your essay.

- 1. Current status of the issue and what has been done so far.
- 2. What needs to be done more?
- 3. How you can contribute to change the situation.

●**選考**

下記二段階の選考を経て派遣者が最終決定される。

①学内選考(書類選考・オンライン面接[英語使用あり]選考にて複数名の立教推薦者を決定)

◆学内選考基準: ボランティアや活動内容への理解、参加意志・意欲・態度、外国語運用能力、個別スキル等から総合的に適性を判断する。

※書類選考通過者のみ、オンライン面接選考を行う

※学内選考通過後、自己都合による辞退は原則認めない。

②国連による選考(書類選考・オンライン面接選考) ※学内選考通過者のみ

※選考方法は変更される可能性あり。別途 募集説明会の説明資料を参考にすること。

●**奨学金(奨学金担当:学生課)**

「立教大学グローバル奨学金」・「立教大学校友会成績優秀者 留学支援奨学金」対象プログラム。

資格要件については各奨学金の募集要項を確認し、指定日(6月予定)までに各自申込手続きを行うこと。

●**現地渡航のための予防接種**

・地域によっては特定の予防接種が入国時の要件とされている場合がある。各自対応のこと。

・必須の予防接種以外は、原則厚生労働省の発表している情報および自身の接種経歴に基づき専門の医師に相談の上任意で接種。

・1本あたり平均1万円前後、1種類あたり複数回の接種が必要となるワクチンが多い。

・接種する種類により、立教の学生健保の医療給付から予防接種費用補助を受けられる場合もある。

●**要確認事項(申込み前に各自で確認しておくこと)**

① 各自必ず所属学部・学科の卒業要件単位等の規程を確認し、自身の希望する時期に卒業要件を満たすことができるかを確認の上、本プログラムへの応募を判断すること。卒業要件単位等について不明な点がある場合、所属キャンパスの教務事務センターに問い合わせること。

② 学校・社会教育講座科目を履修している場合、応募前に必ず学校・社会教育講座事務室に相談すること。派遣が決定した場合には同事務室に5か月間の不在を伝え、資格取得に関するスケジュールを確認し、必要な手続きをとること。

●留意事項

- ① 派遣決定後であっても、必要な査証が取得できなかった場合は当該派遣先への派遣はできない。
- ② 2024年度の派遣にかかる費用（UNVからの支給金に該当する分）は、UNVを介して立教大学より賄われるものである。このことを理解し、立教生として責任を持ってプログラムに参加すること。また、翌年度以降のプログラムの充実、継続のため、選考合格以降、プログラムの参加中、参加後（在学中および卒業後）は本プログラムの広報活動等に積極的に協力すること。

【応募から派遣までのスケジュール】

2月16日(金)	募集説明会
3月15日(金) 17:00	申込締切
～3月19日	学内選考(書類選考)
3月21日～23日(予定)	学内選考(オンライン面接選考) *時間帯の詳細は応募フォームで確認のこと
3月下旬	立教推薦者決定 ※自己都合による辞退は原則認めない
4月初旬	派遣国・派遣機関・DOA(Description of Assignment [業務指示書])発表
4月上中旬	国連への候補者登録
4月	国連による書類選考に対する準備(CV完成)
4月～	国連による面接選考に対する準備
5月～6月中旬	国連による選考(書類選考・オンライン面接選考) ※選考方法変更の可能性もあり
～6月中旬	国連からの選考結果通知(予定)
6月中旬～	渡航準備
7月	学内事前研修
8月	コンソーシアム合同 事前研修(※計約10日間) 国連概論、ICT(Web、画像、動画編集)、教育開発論、災害復興論等の講義、安全対策等
9月	履修登録
9月～2025年2月	現地ボランティア活動
3月	帰国報告会

【問合せ】 立教大学 グローバル教育センター（池袋キャンパス マキムホール [15号館] 2階）
[email] cghrd-unyv@rikkyo.ac.jp
[HP] <https://ghrd.rikkyo.ac.jp>

以上